

令和7年度 女性活躍推進事業（地域女性活躍推進交付金）

1. マザーズセミナー&マネー準備講座

就職・再就職を目指す女性を対象に、ハローワークのマザーズコーナー・近畿財務局奈良財務事務所から講師を迎え、就職活動の進め方やポイント、ライフプランや教育資金などについて学べるセミナーを開催した。

- 【実施日】 令和7年9月18日
- 【開催場所】 さわかホール 4階 大会議室
- 【対象者】 就職・再就職を目指す女性
(男性も可)
- 【参加者数】 13人
- 【満足度】 95%



▲ 講座会場のようす

工夫

・託児あり

→育児中でも、子どもを連れての参加が可能

別室の託児スペースだけでなく、
講座会場にも子どもが遊べる
スペースを設置

・子育て相談窓口がある施設で実施

→就職という環境の変化で、仕事と家庭(子育て)の両立に困ったとしても、相談することへの心理的な障壁を減らす効果が見込める

・近畿財務局奈良財務事務所と共催・講師を依頼

→就職活動に際し、子どもの教育資金、ライフプラン等について学ぶことで、目的意識を持った職場探しができる効果が見込める

・ハローワーク大和高田と共催・講師を依頼

→実践的な内容を学べる・ハローワークへの心理的ハードルを下げ、就労につながりやすくなる効果が期待できる



▲ 別室 託児スペースのようす

参加者の感想

- ・マザーズコーナーは子育て中の母親にとってとても心強いです。
- ・勉強になった。教えてもらえてよかった。ちょっと難しく感じた。何から始めたらいいか考えるきっかけになった。

▲ チラシ

2. デジタル人材育成セミナー 新規

女性のデジタル人材の育成を図ることで多様な働き方ができ、女性の就職に繋げることを目指し、ハローワーク大和高田で実施されている職業訓練の利用方法等を学べるセミナーを開催。

- 【実施日】 令和8年2月20日
- 【開催場所】 広陵町役場3階大会議室
- 【対象者】 就職・再就職を目指す女性
(男性も可)
- 【参加者数】 8人
- 【満足度】 100%

工夫

・ハローワーク大和高田に講師を依頼

→職業訓練の利用方法を知る機会を提供することで、就職相談の入口であるハローワークを利用することの心理的な障壁を減らす効果が見込める

→雇用保険を受給しながら、スキルを身につけられたり、訓練の受講が終わるまでの間、保健の受給を延長できたり、普段知ることのできないことを気軽に聞ける機会になる

参加無料

ハロートレーニングを活用してみよう!

日時 令和8年1月20日(火) 10:30~11:30
※10:00受付開始

会場 広陵町役場 3階 大会議室(広陵町大字南郷583番地1)

女性の活躍を支援

希望する職種に必要な技能や知識などを身につけ、再就職をするための制度についてのセミナーを開催します。

※ハローワークで雇用保険受給中の方は、求職活動実績になります

ハロートレーニング（職業訓練）とは？

講師：ハローワーク大和高田

- ・どんな制度？
- ・どんな訓練があるの？
- ・ハローワークの利用方法？

男性もOK!

参加申込 定員 30名
※事前予約要

✓ 申込締切 1月18日(日)まで

✓ 申込方法
・Web申請フォーム (QRコード)

再就職するには
いろいろ不安で...

申込み・問合せ先
☎0745-55-1001(広陵町協働のまちづくり推進課 内線1284)
主催:広陵町 共催:ハローワーク大和高田

▲ チラシ

参加者の感想

- ・多くの情報を知ることができて大変参考になりました。
- ・今回セミナーを受けて非常に参考になりました。ありがとうございました。



▲ 講座会場のようす

3. 家族（男女）共同の家事・育児を考える ワークショップ等実施事業

男女のグループに分かれ、参加者それぞれの家庭内の悩みごとや、家事・育児のやり方、役割分担のノウハウについて話し合うことで、他の家庭での家事・育児のやり方を知ることができ、気持ちのリフレッシュとともに、視野を広げる機会となった。

- 【実施日】 令和7年9月21日
令和8年1月25日
- 【開催場所】 さわかホール 4階 大会議室
- 【対象者】 乳幼児と家族、妊婦、妊婦と家族
- 【参加者数】 のべ77人（子どもを含む）
- 【満足度】 96%



工夫

- ・ **ワークショップ中に子どもコーナー設置**
→ワークショップ中、同室内でスタッフが子どもを遊ばせることで、安心して参加していただけた
- ・ **地元に根ざして長年活動するNPOに委託**
→NPOと事業の企画段階から何度も打合せを行い、協働で実施することで、NPOの知見やノウハウを多分に活かしていただける事業実施を心がけ、相乗効果を狙った
- ・ **子どもたちと遊ぶイベントの後での実施**
→子どもと遊ぶイベントを抱き合わせることで多くの参加を得られ、ワークショップも和気藹々とした雰囲気での実施できた



▲ワークショップのようす

参加者からは「もっと話したい」「付箋を貼る場所が足りなくなった」など、ワークショップがよかったという意見を多くいただきました

参加者の感想

- ・ワークショップでいろいろな方と交流ができて良かった。
- ・悩みを共有できてリフレッシュ出来ました。
- ・子と離れていたのので、ワークショップに集中出来ました。
- ・解決できないことでも、話すことですっきり楽になりました。
- ・ふれあい遊びをたくさんできて、子どもたちも喜んでいました。



▲チラシ

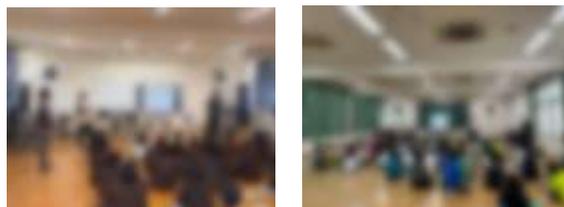
4. 生命（いのち）の安全教育出前講座

（内閣府・文部科学省のカリキュラム）

小中学生のうちから発達の段階に応じて暴力や暴力への対処方法、プライベートゾーンのルールなどを知ってもらうことで、生徒や児童が性犯罪や暴力の被害者や加害者にならない価値観を涵養すること等を目的に実施した。

<講師：参画ネットなら ※県内各所で出前講座を実施。>

- 【実施日】 令和7年6月～12月
- 【開催校】 町内小中学校全校（7校）
広陵西小学校、広陵東小学校、広陵北小学校、
 真美ヶ丘第一小学校、真美ヶ丘第二小学校、
 広陵中学校、真美ヶ丘中学校
- 【対象者】 小学校高学年（4～6年生）、
 中学2年生
- 【参加者数】 のべ674人
- 【満足度】 小中とも90%以上



▲ 出前講座のようす

内容（一部抜粋）

- ・ プライベートゾーンのルール（勝手にさわる×見る×写真撮る×など）
- ・ 心身の距離感（パーソナルスペース）
- ・ 同意の話（いやな時はいやだと言って良い）
- ・ 「男らしさ」「女らしさ」について（LGBTQも）
- ・ けんかといじめの違い
- ・ 相手の立場にたって考えよう
- ・ 暴力を受けていい人・ふるっていい人はいない
- ・ 相談できる窓口や先生、大人がいる
- ・ 女だから、男だからより「自分」が大切



凡例

- はい
- いいえ
- どちらとも いえない
- 未回答
- その他

後期計画内の位置づけ

- 主要施策2
 人権が尊重される安心安全な暮らしの実現
- 主要施策3
 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

児童・生徒の感想

（中学生）

- ・ 人間関係で悩んでしまうことがあるが、悪いことではなくあっていいことだと思ったし、誰かに相談することが大切だと思った。
- ・ 自分の周りには、自分が相談できる相手がたくさんいるのだと気づいた。
- ・ 自分の心や体を守り、相手も尊重しながら、自分や周りの人がデートDVで傷ついていないか気にかけていこうと思った。

（小学生）

- ・ すごくわかりやすい説明で暴力は心も体も傷つけるんだなと思いました。
- ・ しっかり自分を大切にしようと思った。しっかり自分の思いは伝えようと思った。
- ・ 不安になったら誰かに相談したり、嫌と思ったら言っていいたと思った。
- ・ 普段教えてもらえないことをたくさん知ることができた。

5. パープルライトアップ

パープルリボンの紫色にライトアップすることで、暴力の根絶を広く呼びかけ、被害者へ「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージを届けるため全国で実施。広陵町では、町民が多く目にする商業施設で実施し、広く周知・啓発を図っている。

【実施期間】 令和7年11月14日～25日

【実施場所】 エコール・マミ

※館内放送・エコールマミ従業員のパープルリボン着用・トイレでの啓発カード配布なども同時実施



▲ 実施のようす

後期計画内の位置づけ

主要施策2

人権が尊重される安心安全な暮らしの実現

主要施策3

男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備



◀ 啓発ポスター

6. パープルリボンの配布

女性への暴力根絶のシンボルであるパープルリボンの同封リーフレットを刷新し、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心に配布。



町内の福祉作業所に作成を依頼



DV相談ナビ
8008



後期計画内の位置づけ

主要施策2

人権が尊重される安心安全な暮らしの実現

主要施策3

男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備